

早川平会計事務所通信

7月号 VOL. 104

税理士法人早川・平会計

〒101-0048

東京都千代田区神田司町2-10安和司町ビル2階

電話：03-3254-2171 F A X：03-3254-2174

<http://www.ht-tax.com>

mail：y.taira@ht-tax.com



サイエンス誌に発表された論文によれば、家計に不安を抱えていると認知能力が大きく低下するそうです。お金がないと思うと目の前のことに集中して将来から目をそらし良い選択ができなくなるのだとか。しかし「貧は世界の福の神」。苦難は人を育て幸福をもたらします。今日も明るい未来を目指して進みましょう！

【平成二十七年の税制改正について】

平成二十七年は「法人税の税率の引下げに関する改正」「受取配当等の益金不算入制度の見直し」「欠損金の繰越控除制度等の見直し」「国際課税に関する改正」などの税制改正がありました。今回はその中から「法人税の税率の引下げに関する改正」と「欠損金の繰越控除制度等の見直し」を取り上げました。「法人税の税率の引下げに関する改正」では、法人税の税率が25.5%から23.9%に引き下げられました。対象は普通法人、一般社団法人等、人格のない社団等になります。また中小企業者等の法人税率の特例については、適用期限が2年延長され平成二十九年三月三十一日までになりました。この特例は、所得金額のうち年800万円以下の金額に対して法人税の税率を15%とするものです。次に「欠損金の繰越控除制度等の見直し」です。平成二十九年四月一日以後に開始する事業年度において生ずる欠損金額の繰越期間が9年から10年に延長されました。これに伴い帳簿書類の保存や更正の期間制限・請求期間についても10年に延長されました。なお、中小法人等以外の法人については、各事業年度の欠損金および災害による損失金の控除限度額が次のように縮小されました。平成二十九年三月三十一日までに開始する事業年度については控除前所得の100分の65相当額、平成二十九年四月一日以後は100分の50相当額となります。



【若い世代に売るヒントは「ミニマリズム」に潜んでいるかも？】

若者を中心にミニマリストが増えています。ミニマリズムとは必要最小限主義の意味で極力、物を持たない暮らしのことです。洋服や趣味などのコレクションにとどまらず、家財道具も最小限まで処分して部屋には机と椅子のみ、浴室にはせっけん一個というミニマリストも多いとか。不要な物の処分が社会貢献につながるような、持たざる暮らしを後押しするビジネスも登場しています。清貧を誇示するわけでもなく、物より体験重視で人生を楽しむミニマリストに注目です。



A型	B型	O型	AB型
<p>実力以上のことに手を出さず、現状維持に徹する月。ただし副業をお持ちの方は、本業より収益が見込めそう。</p>	<p>思うように進展がみられないものの、今後の活動計画を立案するには好機です。アイデアを絞ることに専念を！</p>	<p>信頼と評価が高まり飛躍できるチャンスに恵まれる運勢。サービス精神とチームワークを意識するとさらに吉！</p>	<p>放置していた仕事を完遂するのに良い月。マニュアルにとらわれず新しいやり方にチャレンジしてみましょう。</p>

【100冊の名言集を読むよりタメになること】

何かをしようとするとき、またはしているとき、私たちの意識は外を向きがちです。「外」とは「他人」や「世間」のこと。人の言葉や考えに学ぼうと、他人ばかりを気にしていませんか。世間にスポットライトを当て、世間に自分を合わせようとしていませんか。人の評価を気にしたり、誰かのせいにしてみたり、世の中が良くないとかやり方が悪いとか、外ばかりに目や心が向いていないでしょうか。

ここ数年は名言集がよく売れているようです。先人の英知にあふれた言葉にはありがたい教えがあり、名言に触れることで成長する自分がいるのも確かです。けれど「あなたにとっての成功とは何ですか？」と聞かれたら、果たして自分の言葉で答えられるでしょうか。外にばかり向かって追い求めようとする心を自分の内側に向け返し、本来の自分を照らすことを「回光返照」（かいこうへんしょう／えこうへんしょう）といいます。外に向けていたライトを内なる自分に向け、心の中を照らし出し、自分自身を省みるのです。

外に向かって求める心が悪いわけではありません。回光返照とは「外にばかり心を向けて他人の考えをなぞっていると、本来の自分を見失ってしまいますよ」という禅の教えです。時には内なる自分に光を当てて純粋な自分と向き合い、その自分が曇ったり汚れたりしていないか確かめてみてください。己の心を明るく照らせば真実の自分が現れます。その自分でもう一度考え、取り組んでみましょう。

流行や人まねではなく、自分が大事にしたいこと、自分がやりたいこと、自分が求めること、自分だからできること。それが「真実」です。

チルチルとミチルが探し求めていた幸せの青い鳥は、結局のところ二人に最も身近なところ、家の鳥かごの中にいました。今、抱えている商売の問題や悩みも、最終的には自分で決断するとなれば、やはり答えは自分の中にあるのかもしれません。



痛快！えだまめ君

画：ほりひろみ



【幸せになる勇氣】

大ベストセラー『嫌われる勇氣』の続編です。「今この瞬間から幸せになる」ための、私たちが日常で直面する具体的な場面を想定した実践編といえます。日頃、感じている疑問が言語化されているので、頭と気持ちがスッキリする一冊です。

